

シンガポール取引所 (SGXL)

アジアにおける中国とインドへのゲートウェイとして確固たる地位へ。通貨先物とコモディティ先物が取引大幅増
 シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2024/6通期は、営業収益が前期比3.1%増、調整後EBITDAが同3.3%増。通貨・コモディティのデリバティブ、プラットフォームが堅調。
- 取引枚数は鉄鉱石先物含むコモディティ・デリバティブ取引が50%増、通貨デリバティブ取引が34%増、店頭FX取引が47%増と大幅増。
- 中国（中国A50先物、米ドル/人民元先物、鉄鉱石先物）とインド（GIFT Nifty指数、インド個別株先物、米ドル/ルピー先物）の二本柱が牽引。

What is the news?

8/8発表の2024/6通期は、営業収益が前期比3.1%増の12.31億SGD、一時的・例外的要因の影響を除く調整後EBITDAが同3.3%増の7.11億SGD、調整後純利益が同4.5%増の5.25億SGD。デリバティブ1枚当たり平均フィーは減少も、通貨・コモディティ関連先物取引の主要プロダクト取引枚数増、およびプラットフォーム関連の安定増に支えられた。会社計画比では総費用増加率が同3.4%（会社計画:3%）とオーバーも、資本的支出額が66百万SGD（同:70-75百万SGD）にとどまったことが利益面で貢献した。

通期の主要4事業セグメント別の営業収益は以下の通り。

(1)「**債券、通貨およびコモディティ部門 (FICC)**」は前期比22.3%増の3.22億SGD。その内、債券は同横ばいの8.5百万SGD。通貨・コモディティは同23%増の3.14億SGD。1営業日平均の取引枚数では、鉄鉱石先物などのコモディティ・デリバティブ取引が同50%増、米ドル・人民元の通貨先物をはじめとする通貨デリバティブ取引が同34%増、およびOTC（店頭）のFX取引が同47%増と拡大した。

(2)「**エクイティ・キャッシュ部門**」は同2.1%減の3.34億SGD。新規上場やセカンダリー募集売出しが減少したほか、1日当たり平均売買金額が同4%減少した。清算手数料率は2.47%と同横ばいだった。

(3)「**エクイティ・デリバティブ部門**」は同7.5%減の3.34億SGD。FTSE台湾指数先物の取引枚数は増加したものの、取引枚数比率で主力のFTSE中国A50指数、インドGIFT NIFTY 指数、日経平均株価指数の減少が響き、合計取引枚数が同7.7%減少した。

(4)「**プラットフォームその他部門**」同5.6%増の2.40億SGD。内訳は、市場データが同9%増、接続収入が同9%増、指数その他収入が同2%増といずれも堅調だった。

How do we view this?

2025/6通期会社計画は、総費用増加率が前期比2~4%、資本的支出が70~75百万SGD。SGXはアジアにおける中国とインドへのゲートウェイとしての位置付けの重要性が今後高まると見込まれる。中国では、FTSE中国A50先物、米ドル/人民元先物、中国関連ETF鉄鉱石先物や海上運賃先物（FFA）の伸びが見込まれることに加え、インドでは昨年7月より開始されたインドのNSE（ナショナル証券取引所）とのクロスボーダーによるデリバティブ取引を背景に、GIFT Nifty指数のほかインド個別株先物、米ドル/インドルピー先物の伸びが期待される。

業績推移

※参考レート 1SGD=111.77円

事業年度	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6F	2026/6F
営業収益(百万SGD)	1,099	1,194	1,231	1,307	1,358
当期利益(百万SGD)	451	570	597	576	592
EPS(SGD)	0.41	0.51	0.54	0.53	0.55
PER(倍)	27.85	22.39	21.15	21.43	20.84
BPS(SGD)	1.45	1.59	1.83	1.97	2.14
PBR(倍)	7.88	7.18	6.24	5.80	5.34
配当(SGD)	0.32	0.33	0.35	0.37	0.39
配当利回り(%)	2.80	2.89	3.06	3.24	3.42

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD) **0.37** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **11.42** 2024/9/30

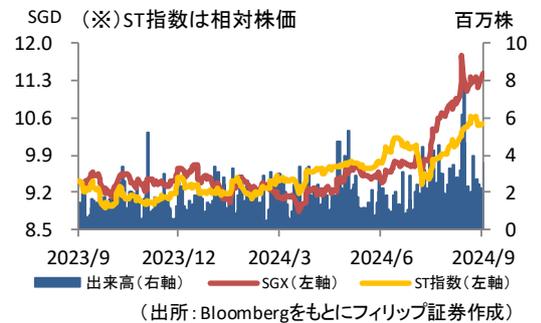
会社概要

1999年設立。アジアを代表する資本市場インフラであり、取引所やクリアリングハウスの所有、運営を行っている。株式、債券からデリバティブ商品までマルチ・アセットに対応しており、上場から取引、清算、決済、保管およびデータサービスまでに至る、総合的なサービスを提供している。上場株式の40%がシンガポール国外の発行体のものであるほか、上場公社債の80%が国外で組成されたものであるなど、国際化が進んでいる取引所である。

同社は、①債券、および通貨・コモディティに係るデリバティブ事業、②現物株式及び株式デリバティブ事業、③時価データ・接続および指数事業の3事業セグメントから構成されている。

企業データ(2024/10/1)

ベータ値 0.88
 時価総額(百万SGD) 12,068
 企業価値=EV(百万SGD) 11,799
 3か月平均売買代金(百万SGD) 25.9



主要株主 (2024/10)

(%)
 1. ブラックロック 4.97
 2. VANGUARD GROUP 3.06
 3. シュロ・ダー 2.75
 (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。